

平成 28 年度第 1 回長野市歴史的風致維持向上協議会 会議記録（概要）

日時 平成28年 8 月 9 日（火）

午後 1 時30分～午後 2 時45分

場所 第一庁舎 7 階 第 1 委員会室

出席委員 13 名

牛山委員、北村委員、小林委員、土本委員、梅干野委員、宮下委員、香山委員、中村委員、徳武委員、高橋委員（代理出席）、牧委員、轟委員、松本委員（2 名欠席 赤羽委員、若麻績委員）

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

轟都市整備部長挨拶

3 委員の委嘱及び委員紹介

4 会長及び職務代理者選出

会長に北村委員、職務代理に牛山委員を選出

5 会長・職務代理者挨拶

北村会長、牛山職務代理の挨拶

6 諮 問

長野市歴史的風致維持向上計画の平成28年度進行管理・評価及び計画の変更について

7 協議事項

(1) 平成28年度の長野市歴史的風致維持向上計画事業について

・説 明 事務局：資料 1 と添付資料No. 1 からNo.10 により平成 28 年度長野市歴史的風致維持向上計画事業について説明

・意 見 「MK 7 旧文武学校保存整備事業」について、今年度は表門の調査解体事業を実施する予定になっているが、松代小学校では卒業式や入学式に卒業生や入学生が表門をくぐる伝統行事があるため、事業の実施は卒業式や入学式にかからないようにしていただきたい。

・回 答 平成 29 年度に旧文武学校において南側建物の修理工事を行うため、表門の通行はできなくなるが、小学校の意見を聞き、できる限り協力する。

- ・ 質 問 「MK17 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業」は平成 26 年度で終了しているが、調査結果を踏まえた今後の対策についてどのように考えているのか。
- ・ 回 答 MK17 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業を実施した結果、この十数年で歴史的建造物が大きく減少していることを確認した。この対策として、特に水路と庭園の保全対策を取りたいと考えている。現在地元区長により、水路や庭園の所有者に対し保全に関する意向を確認中である。市でも関係課による保全対策を検討中である。事業の導入はまだできていないが、地元で水路や庭園を保全する組織を構築していただき、その組織と市で対策を協議していきたいと考えている。
- ・ 意 見 「ZT11 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業」について、祭礼が毎年開催されることになってから今年で 5 年目となり、25 年ぶりに桜枝町の屋台巡行が実施されたが、代表者からは、祭礼への参加は今年が最初で最後と聞いている。いくら屋台を修復しても、祭礼に参加する人がいなければ祭りは継続しない。市が市民に対し祭礼の将来像を示す必要があるのではないか。前回の協議会で、委員から屋台の現状調査を行う必要があるとの意見があった。ぜひ調査を実施して、祭礼の将来像を市民に示していただきたい。
- ・ 回 答 ご指摘のとおり、桜枝町からは祭礼への参加は今回が最後という話しを聞いている。屋台巡行は地元がやる気を示していただくのが重要で、それに対し市が支援をさせていただく。また、実行委員会も祭礼を支援している。実行委員会の支援や地元の頑張りに期待したい。また、屋台の現況調査については、以前に実施した調査の更新が必要であり、現在屋台の保管状況や屋台巡行における問題点等、地元に取り組み調査を実施しているところである。
- ・ その他 祭礼が毎年開催されることになって 5 年が経過したが、地元からは祭礼に参加する人がいないという声もある一方で、外部参加者を誘い込む対策もしている。資金面では、祭礼の実行委員会が協賛金を募っており、回を重ねるごとに協賛金の額が増加している。しかし、祭礼の将来像が見えない。祭礼の実行委員会に対し、5 年や 10 年計画で将来像を立てていただくよう、市や商工会議所で働きかけていきたい。

(2) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について

- ・ 説 明 事務局：資料 2-1 と 2-2 により、計画の進行管理・評価の実施について説明
- ・ 意見等 意見等が無く、事業の質の評価は、原案の 3 事業と外部有識者 2 名で実施することになった。

8 その他

- ・ 源泉徴収票作成事務について

マイナンバー制度の開始により、委員報酬支払いに関する源泉徴収票に、個人番

号の記載が必要となった。

- ・今後の協議会開催予定について
計画の進捗状況の報告等のため、平成 29 年 2 月頃開催を予定する。

5 閉 会

文化財課 青木課長